



# 星翔

和歌山県立  
星林高等学校同窓会報

星林高等学校同窓会事務局  
〒641-0036 和歌山市西浜2丁目9-9  
(星林高等学校内)  
TEL 073(444)4181 FAX 073(444)6332

会長 勝本真人



同窓会長  
勝本真人  
(三十三期)

## コロナ禍で頑張る人たちが!

2020年初頭から世界中に蔓延した新型コロナウイルス。人々の行動が制限され、接触を避けなければいけないというこれまでの生活を一変する日々が今も続いています。

世界経済は冷え込み、そのマイナス分を取り戻すのに今後、どのくらいの年月が必要でしょうか。

学生たちもまた、学校生活も昨年に続き、行事の変更や規模の縮小などが多い一年でした。

同窓会活動も、昨年に引き続き総会・講演会・懇親会の中止を始めて、例年続けていた「ゴルフコンペ」や「ふるさと再発見ウォーク」も中止せざるを得ない状況となりました。

昨年に続き、一連の行事中止は同窓会活動においても大きな打撃でしたが、そんな中、63期の畑山絵里さんが、東京オリンピックセーリング競技「ナクラ17級(混合)」で日本代表として15位の成績を収めました。

畑山さんは星林高校2年生の時にヨット部の顧問に誘われてセーリングを始めたとのこと。「空飛ぶヨット」と呼ばれるほどのスピードが出る男女混合種目と聞き、その練習の過酷さが伺われる競技だと思いました。

オリンピックを終えて、畑山選手に「星翔」への投稿をお願いすると、

快く受けて頂き、4・5面の特集面として掲載することが出来ました。

また、全盲で本校より東京大学教育学部に入学した71期の菅田利佳さんは、2021年秋に開催された「紀の国わかやま文化祭2021」の「聴いて♪弾いて♪みんなのピアノ音楽祭」に出演。多くの聴衆の前で、講演とピアノ演奏を見事に披露しました。

このイベントの様子は、6面に載せています。

若い卒業生の方々が、世界と肩を並べた活躍や、国際的な仕事に就き、人々の役に立ちたいと夢を持っているといった輝かしい活躍を見ると、「星林高校」の前途は明るいのではないかと期待してよいのではないのでしょうか。

今年こそ、ぜひ総会・講演会・懇親会を開けるようにと願っています。



### 2022年度 星林高校同窓会総会・講演会・懇親会のご案内

本案内は諸事情により内容が変更及び中止の場合がございます

日時/2022年8月20日(土) 場所/ホテルアバローム紀の国  
受付/16:30~ 〒640-8262  
和歌山市湊通丁北2-1-2  
総会/17:00~17:30 TEL 073-436-1200  
会費/7,000円(懇親会出席の方のみ) FAX 073-436-8866  
講演/17:45~18:30  
講師 / 菅田利佳氏(71期)  
演題 / 「学ぶことの素晴らしさ  
~星林が私に教えてくれたこと~」  
ピアノ演奏 / 「ショパンバラード第1番ト短調Op.23」  
懇親会 / 18:30~20:30

※お酒をお飲みになる方は車等の運転はお控えください。

お申し込み・お問い合わせは事務局まで

〒641-0036 和歌山市西浜2-9-9(星林高校内)  
TEL 073-444-4181 FAX 073-444-6332

※連絡いただければ申込専用フォームをお送り致します。  
また、右記のホームページからお申し込みできます。

### 星林高校同窓会 ホームページ開設!!

星林高校同窓会 検索



総会や講演会・研修会の情報、  
会報「星翔」などをご覧頂けます。

# 「ともによき世を創る」



学校長 岩崎 博

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動への御支援を賜り誠にありがとうございます。

県立星林高等学校創立七十周年を迎えた翌年に校長として赴任させていただきました。この間、創立七十周年記念として同窓会から贈呈いただいた素晴らしい校旗を、節目ごとに本校の式典・行事で掲げさせていただきました。本校のスクールカラーである「青色」の旗生地に星がデザインされた校旗を式典で目にする度に、卒業生の皆様が築いてこられた伝統と、「さわやかで活発」な本校の校風を感じ、気が引き締まるとともに励まされてきました。今後とも本校の象徴として、大切にさせて頂きま

す。さて、皆様がご周知の通り、教育は一日一日の積み重ねから成り立っています。突然、明日から何かが生まれるという事はなく、小さな経験の積み重ねがやがて大きな成果を生みます。いわば、近視眼的な視点が教育の場では余り重要視されない方がよいと私は考えてきました。本校の扉をたたき入学してきてくれた生徒さんたちが、3年間、一日一日の積み重ねを通し、失敗と反省も繰り返しながら、ただ成長して卒業の日を迎えてくれたのか。そして卒

業後も、それまで学んだことを糧にして、どれだけ自ら考え、自らが幸せに暮らしていけるよう粘り強く働けるのか。そんな将来にわたる「生きる力」の基盤を本校で育んでくれることを願い、校長としての責を果たそうとしてきました。そんな中、私が大切にしている言葉の一つは、「ともによき世を創る」というものです。それは、「世界平和」、「共生社会」、「環境問題」等、これらの解決なしに自らが幸せに暮らしていくことが不可能であることがいよいよアリティーをもって差し迫ってきた今こそ、大切にしなければいけないテーマであると考えています。

個の力ではとても立ち向かえないこれらの諸課題に、「協働してともによき世を創る」生涯にわたってそんな気概と覚悟をなくさない若者が育ってくれたらという思いを今後も持ち続けたいと思います。

本校に集った若者たちが、それぞれすぐれた個性と能力を発揮して、よりよい社会の構築にキラリと輝きながら貢献できる人となるよう、同窓会の皆様には引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## ご存知でした？

# 校内に災害時に役立つ設備を設置していることを!!

高校の正門を入ってすぐ右手にある来客用駐車場前に設置している「災害時マンホールトイレ」を皆さんはご存じですか。

災害が発生し、避難しなければならぬ時、最も必要とされるトイレは、早急の設置が大切とされる。

和歌山市から避難場所に指定されている同校では、約2年前から一般のトイレ4基、車いす用1基がいち早く設置できるよう、用具は体育館倉庫に常備されている。

写真でわかるように、1基ずつテナントに覆われ、車いす用はスペースも十分確保できるようになっている。

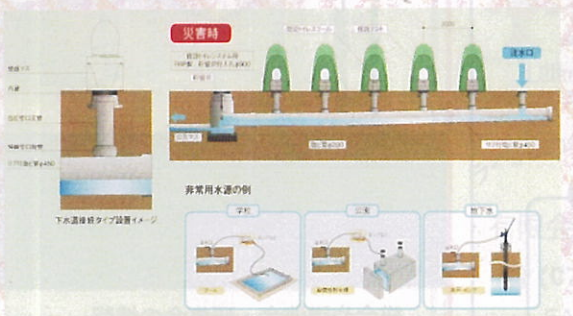
また、本校舎入口付近には、「震度感知式鍵ボックス」(P3に写真掲載)も設置している。このボックスは強震を感知すれば、自動的に鍵ボックスが解錠され、学校に避難してきた住民たちがその鍵を使って校舎内に避難できるというしくみだ。

(両設備の費用は和歌山市が負担)地震は、明るい時間帯だけでなく真夜中などによつてくることもある。近年の異常気象などを考慮すると、突如避難しなければいけない状況があるかもしれない。

そんな折りは、「災害時マンホールトイレ」や「震度感知式鍵ボックス」があることを、是非思い出してほしい。



実際のトイレ設置時



マンホールトイレのシステム概要



工事状況



# 美術部・書道部合作の大絵馬

## 矢宮神社に奉納



星林高校近隣にある矢宮神社（やのみやじんじや）境内には、4年前から毎年、同校美術部・書道部合作の大絵馬が奉納されている。

星林生であれば、通学で必ず通る矢宮神社。試験前や初詣など折に触れ、現役生たちも参拝に訪れているようだ。

若い書き手の躍動ある絵を奉納してもらえたらと、同神社の矢田部宮司が高校の美術部に絵馬の奉納を依頼してから今年で4作目となった。

今回の作品は、「神社に所縁深い雑賀孫一と干支の虎をうまく組み合わせ描いてもらいたい」との神社側の依頼を受け、約1か月をかけて作品に取り組んだ。

令和3年の年末に神社本殿横に設置されてより、地元在住民のみならず、年明けの令和4年には、大勢の参拝客から、「今度の絵馬は匠巻だ」や「二匹の虎の目が光って見える」「孫一がとてもよく描かれている」など、例年以上に好評を博している。

大絵馬には、同校美術部（高木俊明顧問）3名、書道部（松本雅至顧問）6名が制作に携わり、1か月余りと短期間で一気に仕上げたのだという。

今年一年神社の境内で奉納されているので、もし近隣を訪ねる機会があれば、ぜひ一度観覧していただきたい。必見です。

### 事業報告

#### 2021年

- 2月28日 卒業式に「星翔新聞27号」配布
- 5月26日 第1回役員会（リモートにて）
- 8月18日 第2回役員会（矢宮神社にて）
- 12月10日 第3回役員会、懇親会

#### 2022年

- 2月28日 同窓会入会式



震度感知式鍵ボックス（本館入口左側に設置）



**THE RICE** SINCE 1860  
**SPECIALIST**

保井元吾(35期)

おひさまマークのお米 株式会社 やすい

〒641-0025 和歌山市和歌浦中2-1-5  
TEL:(073)444-0074 FAX:(073)444-0084  
URL:http://www.yasui-rice.com/

会計で会社を強くする！

中小企業経営力強化支援法第1号認定  
日本M&A協会 理事会員

### 大住会計事務所

〒641-0001 和歌山市杭ノ瀬 48-1  
TEL.073-473-1691 FAX.073-472-2177  
E-mail:oshumi.fumio@tkcnf.or.jp

Nippon Keapo

日本拳法

和歌山クラブ

練習生募集



代表 山下耕司(27期)

WAKAYAMA CL. TEL(073)447-2358



株式会社  
**竹本建築工房**

代表取締役 竹本尚史(27期)

〒641-0036 和歌山市西浜 1660-37  
TEL073-441-5118 FAX073-441-5108



株式会社 **南北**

櫻畑直尚

〒641-0035 和歌山市関戸5-7-6  
TEL 073-444-3511 (代) FAX 073-444-3411

快適(眠り)空間

寝装・寝具 **いせた**

浅尾雅洋(33期)

和歌山市小松原5丁目(バス停前)  
TEL.(073)422-1101

# おめでとう!

## マリンセーリング競技で



### テニス部から ヨット部へ 転身した 高校2年生

中学校ではテニス部に所属していた畑山さん。

星林高校に入学した後、当時の顧問から誘われて入部したのがヨット部だった。ご本人も記しているように入部後一週間は船酔いが激しく、このまま続けられるか不安だったようだ。

しかし、その後は嘘のように船酔いは収まり、どんどんヨットの魅力に取りつかれていった。

そして、転機を迎えた高校2年生。顧問の原田教諭の勧めでセーリング競技を始めた。

「他人と違ったことをするのが好き」と、日本ではマイナーとされるヨット競技を継続。厳しい練習を重ねいつしか技術も上達していった。卒業後はヨットの強豪校日本経済大学（福岡県）に進学。

当初は「470級」で五輪を目指していたが、前回のリオデジャネイロ五輪で公式種目に採用された男女混合種目「ナクラ17級」に転向した。ナクラ17級は2人乗り。2船体で構成され、スピードが出るも飛ぶように滑走し、時速50キロにも達する。

東京五輪では、大学の先輩に当たる飯束潮吹（しづき）さんとペアを組み競技に臨んだ。

新型コロナウイルスの影響で五輪は1年延期されたが、その間はスイス代表で五輪代表にも選ばれた経験を持つコーチの下で、ひたすらトレーニングを積んでいた。

そして五輪当日。最初のレースで艇を水面から浮かび上がらせる水中翼にトラブルが発生。追い風になかなかスピードが乗らず、ゴールしたチームの中では最下位となった。

2日目も順位を上げられずに15位でフィニッシュした。ペアを組んだ飯束さんは、レースを振り返って「世界の壁は高かった」と苦笑したというが、畑山さんは「持っている力は全部出し切った」と満足したようだ。

畑山さん。本当にお疲れさまでした。私たちに希望の光を与えてくれた貴女に心からのありがとうを贈ります。



©Didier Hillaire

### 先輩たちに続け 星林高校ヨット部



創部54年目を迎えた星林高校ヨット部。現在は2年生7名、1年生8名、計15名の部員によってその伝統が守られている。放課後になると部員たちは活動拠点である和歌山セーリングセンターを目指し、急ぎ足で学校を出発していく。一年を通して海上での練習を行っており、冬の寒い時期であっても、週末は冷たい風に吹かれながら練習に励んでいる。

部長を務める2年生の石井和さんは入学当時ヨット部の存在を知らなかった。「中学では陸上をしていましたが、たまたまヨットの試乗会がある」と聞き、ヨットに乗るなんてこれが最後かもしれない!と思っ

て参加しました。」と話す。きっかけは好奇心からであったが、いざ乗り込んでみるとたちまちヨットの魅力に取りつかれ、一生懸命練習に励んできた。

長いヨット部の歴史の中でもオリンピック選手の出場はことのほか嬉しいニュースだったようだ。畑山選手はヨット部全員でライブ中継を見ながら応援した。「自分たちの先輩が世界の舞台で戦う姿に見入ってしまった。みんなで応援メッセージを送り、それが届いたことも嬉しかったです。」と石井部長は話す。偉大な先輩の勇姿を見て、改めて石井部長に今後の抱負を尋ねてみた。



「目標は絶対にインターハイに出ることです。努力してきたことを出し切りたいです。インターハイに出場したり、大学の推薦をもらったりしている先輩方への憧れもあります。」

現在顧問をしている栗栖教諭も星林高校ヨット部の出身であり、教々の栄光を刻み続けたヨット部は、今もしつかりと受け継がれている。和気あいあいと仲良く練習に励む部員たちの姿を細めて見つめる栗栖教諭。陽光射すヨットハーバーで今日も部員たちは、一生懸命練習を重ねている。第二、第三のオリンピックが輩出されることを願いながら。

# 東京五輪出場

## 63期の畑山絵里さん



### オリンピックを振り返って今、思うことを直撃インタビュー

「空飛ぶヨット」の異名を持つほど最速のスピード感が魅力のセーリング競技。

畑山さんの今回のオリンピックの結果は15位。目標としていた最終レースへの出場は惜しくも叶わなかったが、これまで培ってきた力を存分に発揮した大会だったにちがいない。

星林高校2年生でセーリングを始めた畑山さん。

五輪出場を振り返って改めてインタビューを試みた。

**Q1、東京オリンピック2020出場が決定した時の心境を聞かせて下さい。**

最後の1レース、フィニッシュラインを切っても、まだ結果が分からず、ヒヤヒヤした状態でした。最後まで、勝ち逃げと聞いて、心の底から安心しました。それと同時に辛かったと言う感情が込み上げてきました。レース期間おおよそ1週間、死ぬ気で平常心を保ち、いつもと違うことをしない様にとても気をつけていました。それが、どれほど自分にとってストレスだったか計り知れません。もう二度と経験したくないストレスですが、逆に言う喜びも今までに味わったことのないほどでした。

**Q2、オリンピック当日は、どんな気持ちで競技に臨みましたか？**

このコロナ禍でオリンピックが行われたことに感謝すると同時に、心から「楽しんで」競技(セーリング)することを目標にして挑みました。

**Q3、そして競技の本番。競技中のようすの一部始終を教えてください。**

初めてのオリンピックで緊張するかと思つたのですが、全く緊張せず、割と自分たちのペースで上手くレースができたと思います。そして特に海が荒れることも無く、どのチームも船が壊れることもなく平穩にレースが終わりました。それでも、あまりレースの内容を覚えていないので、緊張が精神的にまいっていたのかと思います。レース前日から本番中にかけて皆さんから応援の言葉を頂いたのですが、正直、携帯(SNS)から離れたかったです。「頑張れ」の言葉がここまで自分を辛くさせると思つていませんでした。

**Q4、オリンピックが終了した今、振り返って思うことは？**

どの国も「母国愛」を持っていて、「国の為に戦っている」と言う意志をすごく感じられたことです。私たちのコーチは外国人(アルゼンチン)でレースが始まる前にほんの少しだけ、その話題に触れてくれていまし

た。「楽しんで競技をするのはもちろん、何の為に戦うのか」とその時、あまり実感が無く、深い意味もわかりませんでした。レースが終わり、メダルセレモニーを自分の目で観て理解しました。自分たちの国旗を掲げて国歌を歌う、これは今まで自分が育ってきた国への愛や感謝を表す素敵なものなのだ。サポーター、選手含め皆が一丸となり、自国の愛を表現し、それをまた他国どうしで認め、讃え合う一つの手段が、このオリンピックという大きな舞台なのかと全身で感じる事ができました。今まで、感じたことのない(習ってもこなかった)ことを新たに学ぶことができて、本当によかったです。ひと昔前の日本までとは言いませんが、もう少し母国、日本に興味を持つてあげることが、今の私たちに欠けていることではないかと思つています。母国を思いやる気持ちが、色々な意味で生産性の効率を上げていくのではないかと感じました。

**Q5、話題は変わりますが、星林高校2年生の時、セーリングを始めたそうですが、そのきっかけとなつたのは何ですか？**

その当時のヨット部顧問、原田先生に球技大会(バレーボール)直後に勧誘して頂きました。その時、部活も特にやっていなかったのですが、軽い気持ちで始めました。最初の1週間は船酔いが酷く、ヨットを続けるか迷いました。8日目にして、船酔いしなくなり、部活の入部を正式に決めました。

**Q6、セーリング選手として続けて来られた原動力となつたのはどんなことですか？**

周りのセーリング選手に支えてもらい、また切磋琢磨し合えたことです。日本、国外限らず情報共有をし、お互いの良いところを褒め合う事で成長を確認します。自分が成長しているかは他人と図らないと分からない競技なので、余計にそう言ったコミュニケーションを取る事が、私にとって一番楽しい瞬間で、まさに原動力になっていたかと思つています。

**Q7、さて今後はどんな目標を持って活動をされるのですか？**

今後のことは、正直全く考えておりません。この貴重な体験を後世へ語り継いでいきたい、または生かして、世のため人のために活躍できるようになりたいとは考えています。まだ未来のことは全く分かりませんが、こんな時代のオリンピックは希少ですよ。自分にしかできないことがあると思つています。

**Q8、最後に星林高校ヨット部の現役員たちにひとことアドバイスを贈るとすると...**

文武両道。とまでは言いませんが、やはりどこで何をやるにしても勉強(知識)は必須です。学ぶことはさまざまな考え方や、見方を増やしてくれますし、何よりも「幅」が広がります。私も高校時代はどちらかと言うと勉強は好きな方ではなかったですが、今もしその時代に戻れるなら、戻ってしっかり勉強したいと、後悔しています。どうしても先のことを夢見がちですが、今その時代を生かせるのはその時の自分だけなので、後悔しないように、しっかり高校生を謳歌してください。

「国の為に戦っている」と言う意志をすごく感じられたことです。私たちのコーチは外国人(アルゼンチン)でレースが始まる前にほんの少しだけ、その話題に触れてくれていまし

# 菅田利佳さん (71期) が 紀の国わかやま文化祭2021に出演!

2021年11月7日(日) 貴志川生涯学習センター



講演する菅田さん

いてきた「国際的に活躍したい」という想いが一層膨らんだと話し始めた。

夢の実現に向けて東大教育学部への受験に挑戦。難関を突破して見事現役で合格を果たした。

3回生となった現在は、教育学と音楽との共有を学ぶ一方で、国際機関と連携しながら、イベントの企画やワークショップ、ウェブの運営、学校への授業などを行う団体「東京大学UNiTe」に加入。昨年は代表を務めた。

UNiTeは、誰一人取り残さない世界を目指す『持続可能な開発目標(SDGs)』をはじめ、国連のプライオリティに文化・芸術を通して取り組んでいる。

また、もう一つの団体として、東京大学チームと、EMPOWERKANAZAWAが発信元となり、国連・文化・芸術界、企業、世界の若者とのパートナーシップを通じ

て、障害の「社会モデル」に基づいて、オリンピック・パラリンピック、SDGsの社会実現に向けて、新文化を世界で推進している「EMPOWER」でも積極的に活動をしている。昨年6月には、EMPOWERの代表として、ブロードウェイにも参加してきた。

講演で菅田さんは「幼い頃からの夢を実現するために多くの出会いとサポートがあつてここまで来れました。その恩返しにはならないかもしれませんが、音楽(ピアノ)を通して誰かに夢や出会いを得ていただきたいと思っています」と語った。

その後、ドビュッシー作曲ベルグが大好きだと称賛するリスト作曲のパガニーニによる大練習曲 第3曲「フ・カンパネラ」の演奏を披露。

客席からは、感動の拍手がいつまでも鳴りやまない状態が続いた。一昨年、昨年と星林高校同窓会総会で、菅田さんに講演とピアノ演奏の出演を依頼し、彼女からは快諾いただいていたのだが、2年連続で総会を中止せざるを得ない状況で、未だ実現していないのが実状だ。

今年こそコロナウイルス感染が落ち着いて、一人でも多くの卒業生の皆様に彼女の素晴らしい演奏と、やさしい語り口の講演に耳を傾けてほしいと、心から願うばかりだ。

実現に向けて、感染対策や会場でのソーシャルディスタンスをしっかりと考えて、多くの方々に、菅田さんの魅力に触れていただきたいと切にお願いする次第だ。

菅田さんには、3年越しの夢の実現を果たしてもらえたらうれしい限りだと締めくくりたい。

3歳の時、「網膜色素変性症」と診断され、全盲となった菅田利佳さん。  
ハンディを持ちながら星林高校国際交流科を卒業し、現在は東京大学教育学部3年生に在籍している。  
その菅田さんが昨年11月に県内全域で開催された「紀の国わかやま文化祭2021」のイベントに出演した。  
紀の川市で開かれた「聴いて♪弾いて♪みんなのピアノ音楽祭」講演と見事なピアノ演奏2曲を披露したのだ。  
菅田さんは、本校71期生で、現役東大生として勉学に励む傍ら、3歳から始めたピアノもずっと続けており、フランス留学でレッスンを受けた指導者に今も師事している。  
ピアノ音楽祭の講演では、盲学校から星林高校国際交流科に進学したことで、それまで以上に海外へ出向く機会が増え、幼い頃よりずっと抱



見事なピアノ演奏を披露

## 有志たちで 楽しむテニス

11月30日10時、抜けるような青空の下、紀三井寺競技場テニスコートに8名の有志が集まりました。9年目を迎える「紀三井寺テニス」は、星林高校の校長室で、当時の有本校長と交わした何気ない会話から、運動不足を補おうと健康維持のため結成されました。メンバーのテニス経験は様々で、学生時代から馴染んでいる方、「七十の手習い」で始めた方など、50才から85才まで総勢15名、最年長は7期生。「健康と元氣」をモットーにそれぞれマイペースで楽しんでいきます。

下手でもやる気のある人はいつでも歓迎。テニスボールを打つ音がコートに響き、続いて歓声が上がります。ゆっくりとボールを追いかけ、大きな声でおしゃべりして、和気あいあいと楽しみましよう、12期の中村さんからの誘いです。



「紀三井寺テニス」のメンバー

# 関西支部より 同窓会の皆さんへ

2021年の行事・イベントは新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、5月10日開催のSKGゴルフ会を開空クラシックゴルフ倶楽部にて6名の参加者で実施致しましたが、予定してました6月5日の関西支部定期総会、及び春、秋のウォーキング及びSKG秋のゴルフ会(泉南カントリー倶楽部)は残念ながら全て中止となりました。特に大阪地区に於ける感染状況が、大変危惧される状態であった為、会員の安心安全を考え、中断中止とさせて頂きました事、ご理解頂たく存じます。又、役員会も同様の措置をとらせて頂きました。

【関西支部連絡先】  
支部長 福田 孝幸  
大阪府堺市南区在住  
☎090-308117688  
t.pak.1125@gmail.com

お知り合いの関西在住の同窓の皆さん、これからも名所旧跡巡りやゴルフ大会で交流を深めましょう。



2022年度につきましては、6月には第19回の定期総会及び、季節を考えたウォーキング、更には春秋のSKGゴルフ会を開催するように計画致します。

## 関西在住の同窓生の諸君に！

現在関西支部会員は、3期生より49期生まで157名のメンバーが登録されており、総会時には、最近40名余りの参加を頂いています。しかし、年々高齢化と共に参加者が減少しています。是非声を掛け合って異期生達の会に集いませんか。お待ちしております。

## 令和3年度同窓会入会式

まず、勝本真人同窓会長より同窓会に入会したことを歓迎する挨拶があり、これからは同窓会の会員としてさまざまな活動への協力を広く呼びかけました。

近年、卒業生の人数やクラスの減少は否めませんが、星林高校卒業生として大いに活躍してほしいと願っています。

異学年とも交流となる年一回開催している同窓会総会への参加や連絡役として、各クラスの代表幹事の方々にはお手数ですがご協力を何卒よろしく願います。

最後に、同窓会終身会費として例年通り三千円の納入をお願いしました。

これは、同窓会活動における各種行事費、事務費に充当しますので、ご理解をいただきたく存じます。

今後の同窓会活動にもぜひご参加ください。

## 第74期代表幹事

A組	新井 颯人	岡本 納那
B組	佐倉ほのか	寒川 智也
C組	小西 晴太	松下 真依
D組	大屋 直士	杉山 由花
E組	西山 実咲	登尾 元哉
F組	芝村ゆきの	増本 航弥
G組	黒田 大静	三木 和泉



## 同窓会役員名簿

顧問	7期	鈴木 俊男
顧問	20期	北山 順英
顧問	12期	中村 協二
顧問	28期	檜畑 直尚
会長	33期	勝本 真人
副会長	29期	木村 明人
副会長	29期	山下 二美
副会長	35期	廣井 久道
幹事長	35期	保井 元吾
副幹事長	38期	高橋 武士
副幹事長	42期	島 由佳子
事務局長	30期	糸 浩子
事務局次長	30期	山添 勝則
書記	27期	永原 敏行
書記	29期	尾花 正治
書記	31期	辻本 哲
書記	35期	北原 千恵
書記	35期	宇治田いさ子
書記	36期	瀧川 嘉彦
書記	41期	西廣 安貴子
書記	45期	中谷 久生
監査	37期	酒本 正志
監査	54期	大住 真一郎



本館を優雅に飾る垂れ幕コンテスト(今年度の「星林祭」)

ソフト開発・クラウドサービス・IT全般

**株式会社 正和情報サービス**

代表取締役 尾花 正治(29期)

〒640-8226 和歌山市小人町6番地  
電話 073-433-3323  
http://www.seiwajoho.co.jp/

**(株) 瀧川建築デザイン事務所**

所長 瀧川 嘉彦(36期)  
一級建築士 JIA登録建築家

〒640-8376 和歌山市新中通1丁目16  
TEL.073-427-6310  
FAX.073-436-1512

四季の味

**ちひろ**

Chihiro Japanese Restaurant

西廣 安貴子(41期)

和歌山市吉田801  
☎073-431-3939



農業用機械器具資材、水道・ガス工業用品  
住宅改修、介護・福祉用品

**株式会社 おかい商店**

代表取締役会長 岡井 憲晃(22期)  
代表取締役社長 岡井 良樹(48期)

本社 〒649-6531 和歌山県紀の川市粉河517の6  
TEL(0736)73-3261(代表) FAX(0736)73-3264

紀州南高梅

**信喜梅**

勝本真人(33期)

本社工場  
〒641-0036 和歌山市西浜789-3  
TEL(073)424-8101  
http://www.w-ksk.co.jp/



創業文久二年

**諏訪園**

永原敏行(27期)

〒640-8377  
和歌山市新堺丁40(東ぶらくり丁商店街中程)  
TEL:073-423-1154(代) FAX:073-428-3275  
E-mail t-nagahara@suwaen.com www.facebook.com/suwaen/

**JUST CURTAIN**  
ジャストカーテン

**INTERIX** 〒649-6311 和歌山市里174-1  
TEL 073-462-7717(代) FAX 073-462-7758  
http://www.interix.co.jp/

代表取締役社長 木村 明人(29期)

**株式会社 豊工業所**

〒641-0062和歌山市雑賀崎2021の9  
☎(073)448-2731(代)

あなたのご相談お聞きします

たかみこう  
高富講

**山下 二美**  
(29期)

〒641-0036  
和歌山市西浜3丁目9-3  
携帯090-8989-0020

左官工事全般

**株式会社 高橋工業**

代表取締役 高橋 武士

〒640-8255 和歌山市舟津町3丁目7-2  
tel:(073)422-7793(代) fax:(073)422-1074

**Seirin**

**和歌山動物病院**

獣医師  
前嶋 ヒロム(20期)

和歌山市塩屋1-4-41  
TEL 073-445-4397



*Pâtisserie Du Kansa*

洋菓子・**カンサ**

勘佐 文夫(20期)  
勘佐 佳史(46期)

和歌山市東高松 TEL.444-9053

介護の事何でもご相談ください

- ヘルパーステーション ホーム
- 居宅介護支援 ホーム1
- 障害者自立支援 ホーム2
- 認知症対応型デイサービス 花
- 住宅型有料老人ホーム 湧れの杜(なげれのもり) 粋の杜(そのり)

グループホームパプリカ

ワイフケア  
有限会社 ViVifala 島 ゆかこ(42期)

☎0120-556-398

社会福祉法人 わかうら会

**わかうら園**

☎(073)445-0808  
〒641-0061 和歌山市田野175番地

理事長 土山 憲一郎(7期)

- 介護老人福祉施設
- 短期入所生活介護
- 認知症対応型共同生活介護
- 通所介護
- 地域交流事業
- ケアハウス
- 居宅介護支援
- 地域包括支援センター
- 診療所
- デイサービスセンター雑賀庄
- 訪問介護

おクルマに関する事なら  
なんでもご相談ください

**SMILE** 登録 スズキモーター和歌山

TEL. 073-451-2151

【スズキアリーナ孤島】  
和歌山市孤島 379

【スズキアリーナ岩出バイパス】  
岩出市湊川 272-1

【広川店】  
有田郡広川町名島 100

【スズキアリーナ東山】  
由良市東山 2丁目 31-20

【U's STATION孤島】  
和歌山市孤島 377



資源リサイクルセンター

**株式会社 松田商店**

リサイクルの風を和歌山から

和歌山市西河岸町46番地  
TEL073-433-1212  
FAX073-433-1214  
http://www.eco-kururin-matsuda.co.jp



和歌山ゼロックスは2021年4月1日より  
ASMILE(アスミル)に社名変更します!

**ASMILE** 富士フィルムB1特約店

OFFICE SOLUTION

オフィスのすべてのお困りごとを解決するために!!  
何でも相談お待ちしております。

〒641-0013和歌山市内原1000番地の1  
TEL073-446-4305(酒本37期卒まで)

印刷・広告・看板のデザイン製作

**ティープランナー**

辻本 哲(31期)

〒640-8404 和歌山市湊5丁目8-3  
TEL.073-454-1822 FAX.073-454-1833

ラベルのことならなんでもどうぞ!!

有限会社 **富士シール**

☎(073)425-2759(代)

FAX(073)425-2769  
和歌山市弁財天丁 38

**OKURA**  
CLUB & HOTELS

**株式会社 大倉**